

日本文化を考慮した学修者評価 Learner Assessment in Consideration with Japanese Culture

自治医科大学 医学教育センター

松山 泰

Jichi Medical University

Yasushi Matsuyama, MD, MHPE, PhD (Med, Med Educ)

科 挙



貢 挙 (くこ)

701年 大宝律令の
「学令」に記される

奈良・平安時代の貴族制国家の流れのなかで、家柄・身分を問わない官僚選抜試験は姿を消した。

(天野郁夫. [増補] 試験の社会史, 2007)



David Murray

(ダビッド・モルレー)

明治の近代教育政策で
我が国の学校制度の礎を
築いた人物

- 東大での演説（明治10年12月）

- ◆ 「試験及第ノ法ヲ以テ文官ヲ選擢スルノ法」—中国の「科挙」を紹介
筆記試験で多数の志願者を評価して官僚に登用する特性を、「国家ヲ改
新スル」ことを目指している日本にとって「極メテ盛大ノ要具ト為ル」
と述べた。

- ◆ 「科挙」を参考としたヨーロッパの大学入学資格試験（後のフランス
のバカロレア、ドイツのアビトゥーアなど）の導入が背景。

モルレーは「（選抜）試験制度をもっとも（欧米以上に）純粋な、理
想的な形で、この早急な近代化を目指す東洋の島国に移し植えようと考
えた。」

（天野郁夫. [増補] 試験の社会史, 2007）

中等～高等教育で、 次段階への（入学）選抜試験が重視された背景

「中等教育から高等教育まで、上級学校の進学に必ず入学（選抜）試験がつきまとう国は、わが国のほかにはない。欧米諸国の場合は、前段階の学校の卒業資格試験の合格証明書である」 「日本が『入学試験』の国だとすれば、欧米諸国は『卒業試験』の国ということになるだろう。」

【理由1】 官僚や専門職のみならず、近代化のために急速にホワイトカラーを採用したいと思う企業が「学歴」を根拠に採否判定を行った。

【理由2】 国の財政難で、中学・高校の定員数をなかなか増やせず、人数制限と人材選抜のため、入学試験に強く依存した。

【理由3】 明治、初等教育～高等教育が一斉に確立され、「頭ノ方（大学）」を中心とした学校系統と「尾ノ方（小学校）」から発達した学校系統の、接続、連携がうまくいかなかった。とくに「頭ノ方」がエリート人材を選抜する入学試験に強くこだわった。

中等～高等教育で、 次段階への（入学）選抜試験が重視された背景

「中等教育から高等教育まで、上級学校の進学に必ず入学（選抜）試験がつきまとう国は、わが国のほかにはない。欧米諸国の場合は、前段階の学校の卒業資格試験の合格証明書である」 「日本が『入学試験』の国だとすれば、欧米諸国は『卒業試験』の国ということになるだろう。」

【理由1】 官僚や専門職のみならず、近代化のために急速にホワイトカラーを採用したいと思う企業が「学歴」を根拠に採否判定を行った。

【理由2】 国の財政難で、中学・高校の定員数をなかなか増やせず、人数制限と人材選抜のため、入学試験に強く依存した。

【理由3】 明治、初等教育～高等教育が一斉に確立され、「頭ノ方（大学）」を中心とした学校系統と「尾ノ方（小学校）」から発達した学校系統の、接続、連携がうまくいかなかった。とくに「頭ノ方」がエリート人材を選抜する入学試験に強くこだわった。

我が国の医学に関わる試験の歴史（戦前）

◆明治初頭～太平洋戦争

1872[明治5]年に学制が交付

1874[明治7]年に医制が交付

1875～6[明治8～9]年に医制に基づく医師開業試験

→ 医師開業試験を受験するための予備校的な医学校が急増

（同時に医制に基づく水準の高い試験に対応できない医学校の廃校）

1886～8[明治19～21]年、森有礼文部大臣による医学教育制度の大改革

→ 経営基盤が不安定な地方医学校の廃校

→ 卒業すれば無試験で医師になれる医学校：帝大など計9校

→ 医業開業試験を受験するための医学校（医専）

1914[大正5]年、医師法施行に伴う医師試験（医師開業試験の廃止）

→ 医師試験免除 vs 必須の医学校（学校の差別化）

その後の戦時下の医師需要の高まり

→ 資格試験免除で（しかも短い学修期間で）医師になったもの多数

（坂井建雄ら、医学教育 2010;41:337～46. 吉岡昭正、医学教育白書, 1978）

我が国の医学に関わる試験の歴史（戦後）

	日本社会の歴史（一部）	医学部に関わる試験
1945～49	終戦：GHQによる華族制度廃止・財閥の解体 教育基本法制定：義務教育の導入 (高等教育機会の拡大・平等性の確立)	1947 第1回医師国家試験 インターン制度導入
1950～59	高度経済成長期：「終身雇用制度」や「年功序列」という日本型雇用システムの普及 「入学難易度の高い大学を出て、一旦、優良企業へ就職すれば生涯安定した生活が保障される」	1967 医師国家試験ボイコット運動
1960～69		1968 インターン制度廃止
1970～79		1970～ 医科大学の新設、医学生数増加
1980～89	「受験地獄」という造語	1985 年複数回の国家試験終了（年1回となる）
1990～99	1991～3 バブル崩壊 1995 阪神・淡路大震災	1993 出題科目が全科となる
2000以降	2008 リーマンショック 2011 東日本大震災 2020 COVID-19パンデミック	2001 モデル・コア・カリキュラムの提示 2005 臨床実習前共用試験CBT/OSCEの正式実施 2010～ 医学部入学偏差値の急上昇 2021 医師法改正（ステューデントドクター） 臨床実習前共用試験CBT/OSCEの公的化

(坂井建雄ら, 2010. 吉岡昭正, 1978. 福島統, 2018. 小西琴絵, 2020などの論文を参照)

我が国の医学に関わる試験の歴史（戦後）

	日本社会の歴史（一部）	医学部に関わる試験
1945～49	終戦：GHQによる華族制度廃止・財閥の解体 教育基本法制定：義務教育の導入 （高等教育機会の拡大・平等性の確立）	1947 第1回医師国家試験 インターン制度導入
1950～59	高度経済成長期：「終身雇用制度」や「年功序列」 という日本型雇用システムの普及	
1960～69	「入学難易度の高い大学を出て、一旦、優良企業へ 就職すれば生涯安定した生活が保障される」	1967 医師国家試験ボイコット運動 1968 インターン制度廃止
1970～79		1970～ 医科大学の新設、医学生数増加
1980～89	「受験地獄」という造語	1985 年複数回の国家試験終了（年1回となる）
1990～99	1991～3 バブル崩壊 1995 阪神・淡路大震災	1993 出題科目が全科となる
2000 以降	2008 リーマンショック 2011 東日本大震災 2020 COVID-19パンデミック	2001 モデル・コア・カリキュラムの提示 2005 臨床実習前共用試験CBT/OSCEの正式実施 2010～ 医学部入学偏差値の急上昇 2021 医師法改正（ステューデントドクター） 臨床実習前共用試験CBT/OSCEの公的化

（坂井建雄ら，2010．吉岡昭正，1978．福島統，2018．小西琴絵，2020などの論文を参照）

我が国の医学に関わる試験の歴史（戦後）

	日本社会の歴史（一部）	医学部に関わる試験
1945～49	終戦：GHQによる華族制度廃止・財閥の解体 教育基本法制定：義務教育の導入 （高等教育機会の拡大・平等性の確立）	1947 第1回医師国家試験 インターン制度導入
1950～59	高度経済成長期：「終身雇用制度」や「年功序列」 という日本型雇用システムの普及 「入学難易度の高い大学を出て、一旦、優良企業へ 就職すれば生涯安定した生活が保障される」	1967 医師国家試験ボイコット運動
1960～69		1968 インターン制度廃止
1970～79		1970～ 医科大学の新設、医学生数増加
1980～89	「受験地獄」という造語	1985 年複数回の国家試験終了（年1回となる）
1990～99	1991～3 バブル崩壊 1995 阪神・淡路大震災	1993 出題科目が全科となる
2000 以降	2008 リーマンショック 2011 東日本大震災 2020 COVID-19パンデミック	2001 モデル・コア・カリキュラムの提示 2005 臨床実習前共用試験CBT/OSCEの正式実施 2005～ 医学部入学偏差値の急上昇 2021 医師法改正（ステューデントドクター） 臨床実習前共用試験CBT/OSCEの公的化

（坂井建雄ら，2010．吉岡昭正，1978．福島統，2018．小西琴絵，2020などの論文を参照）

「成果主義」時代の日本社会における 実践力評価に関する考察

(小西琴絵, 2020. 高橋潔, 2001. などの論文を参照)

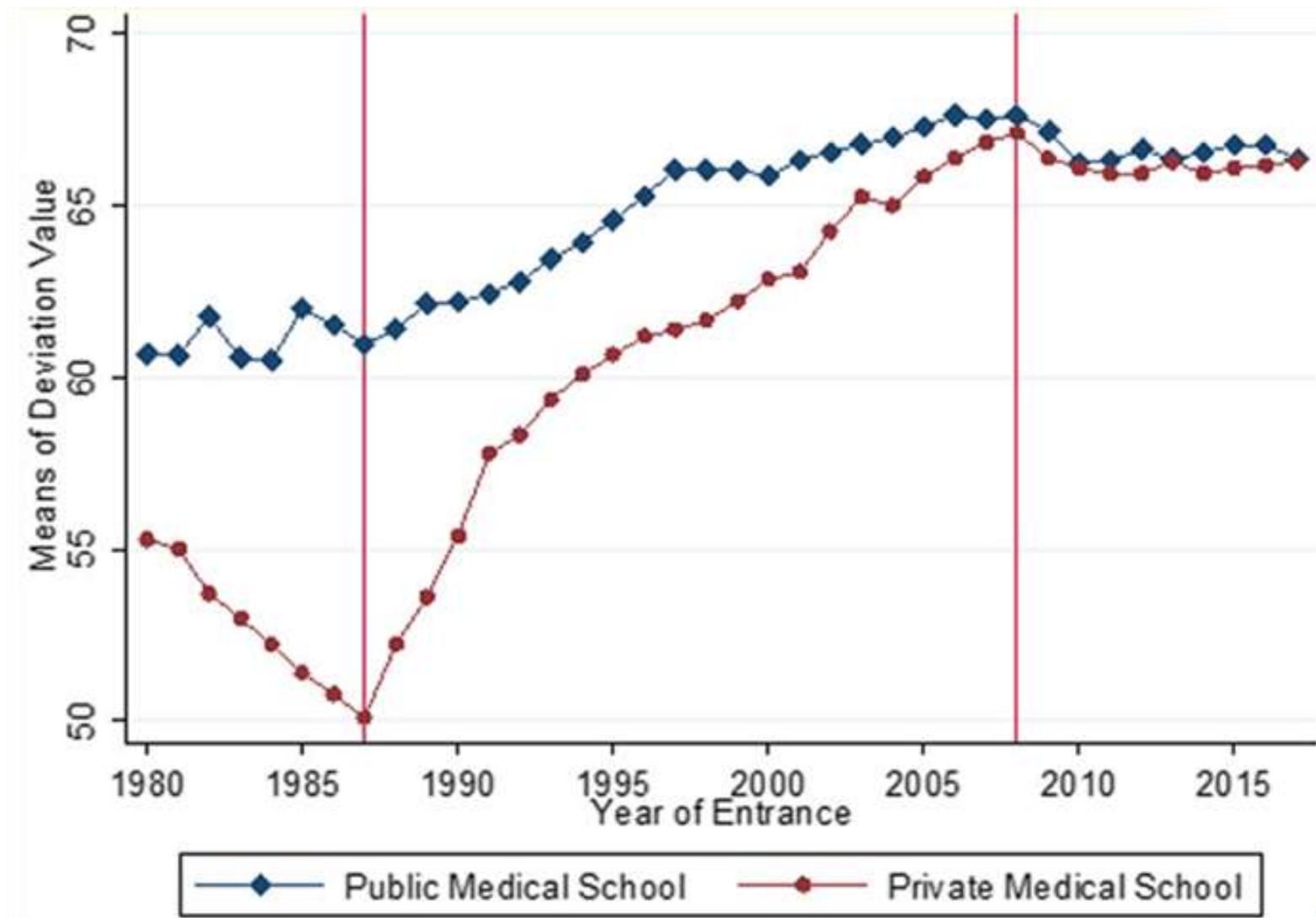
- 1990年代、バブル崩壊後（中略）、我が国の企業の多くで終身雇用と年功ベースの処遇を維持することが困難になり、「成果主義」が強調されるようになった。
- とはいえ、企業側がどのような人物を重視するか具体的な人物像の基準が示されていない。
- 「コンピテンシー」という概念の導入は、欧米企業に比して、日本企業では20~30年の遅れがある。
- 学歴や勤続年数と切り離して、就業者の業務能力を体系的に評価し、個の能力に基づいて厳密に昇進や解雇を判断するような文化は薄い。
- 我々は、日々の業務を観察評価していたかもしれないが、個人の能力に関して公平に評点したり、観察内容の詳細を記録に残したりすることを習慣化していなかったかもしれない。

コンピテンシー評価のため、日々の業務での観察事項を評価して記録するといった習慣が、我が国では一朝一夕で定着しないかもしれません。

我が国の医学に関わる試験の歴史（戦後）

	日本社会の歴史（一部）	医学部に関わる試験
1945～49	終戦：GHQによる華族制度廃止・財閥の解体 教育基本法制定：義務教育の導入 （高等教育機会の拡大・平等性の確立）	1947 第1回医師国家試験 インターン制度導入
1950～59	高度経済成長期：「終身雇用制度」や「年功序列」 という日本型雇用システムの普及 「入学難易度の高い大学を出て、一旦、優良企業へ 就職すれば生涯安定した生活が保障される」	1967 医師国家試験ボイコット運動
1960～69		1968 インターン制度廃止
1970～79		1970～ 医科大学の新設、医学生数増加
1980～89	「受験地獄」という造語	1985 年複数回の国家試験終了（年1回となる）
1990～99	1991～3 バブル崩壊 1995 阪神・淡路大震災	1993 出題科目が全科となる
2000 以降	2008 リーマンショック 2011 東日本大震災 2020 COVID-19パンデミック	2001 モデル・コア・カリキュラムの提示 2005 臨床実習前共用試験CBT/OSCEの正式実施 2005～ 医学部入学偏差値の急上昇 2021 医師法改正（ステューデントドクター） 臨床実習前共用試験CBT/OSCEの公的化

（坂井建雄ら，2010．吉岡昭正，1978．福島統，2018．小西琴絵，2020などの論文を参照）



Takaku, R., "BMC Human Resources for Health, 18, 38, 2020. から引用

大学入試共通テスト改革を通じた 我が国のテスト文化の考察

(石井秀宗, 2018. Arai S & Maekawa S, 2005. 前川眞一, 2015.などの論文を参照)

- 大学入試共通テストの複数回化は、30年以上にわたり見送られ続けている。
- 理由は「日本のお役所器質」？（本当のことは分かりません）：

「少々不備があっても説明責任は不要」⇒「最初の設定以降は大幅な改定をしたがらない」

「専門家（テストならば心理測定家）の活用不足」

- 「テスト問題は実施後公開」されるため、「毎回新作問題」をつくることが必要で、「各試験問題の特性に関する予備調査はできず」、「年に1回限り」実施され、その試験成績の有効期間は当該年のみである。（バカロレアやアビトゥーアとの違い）
⇒ 「（国試にみられるような）年単位の相対評価による選抜試験方式の発想である」

大学入試共通テスト改革を通じた 我が国のテスト文化の考察

(石井秀宗, 2018. Arai S & Maekawa S, 2005. 前川眞一, 2015.などの論文を参照)

- 大学入試共通テストの複数回化は、30年以上にわたり見送られ続けている。
- 理由は「日本のお役所器質」？（本当のことは分かりません）：
「少々不備があっても説明責任は不要」⇒「最初の設定以降は大幅な改定をしたがらない」
「専門家（テストならば心理測定家）の活用不足」
- 「テスト問題は実施後公開」されるため、「毎回新作問題」をつくることが必要で、「各試験問題の特性に関する予備調査はできず」、「年に1回限り」実施され、その試験成績の有効期間は当該年のみである。（バカロレアやアビトゥーアとの違い）
⇒ 「（国試にみられるような）年単位の相対評価による選抜試験方式の発想である」

**CATOが臨床実習前共用試験で導入した多肢選択式コンピュータ試験（CBT）の
IRTを用いた「絶対評価」「試験の複数回化」は大変画期的**

我が国のCBT/OSCEを検証してみる

van der Vleuten C. Adv Health Sci Educ 1996.
を参照に演者が記述

	信頼性	妥当性	教育的効果	費用対効果	現場の受入れ
CBT	再現問題の流布 再現問題の丸覚えによる回答	ブループリント 項目特性の強み	再現問題の流布 再現問題・予備校 模試頼み学習	全医学部から 新作問題が作成され提供される コンピュータなどの設備投資・管理	コンピュータなどの設備投資・管理
OSCE	信頼性を担保する ステーション数 模擬患者数 評価者数の確保	臨床実習前に獲得しておきたい診療技術を確認する pre-CC OSCE Post-CC OSCEが臨床実習中の評価よりも妥当か？	OSCE対策授業がカリキュラムへ導入された。 OSCE直前にシミュレーションセンターに立てこもる。	評価者、模擬患者養成、会場備品などにかかる費用の対価	評価者・模擬患者の養成の負担、準備する部門の負担

我が国のCBT/OSCEを検証してみる

van der Vleuten C. Adv Health Sci Educ 1996.
を参照に演者が記述

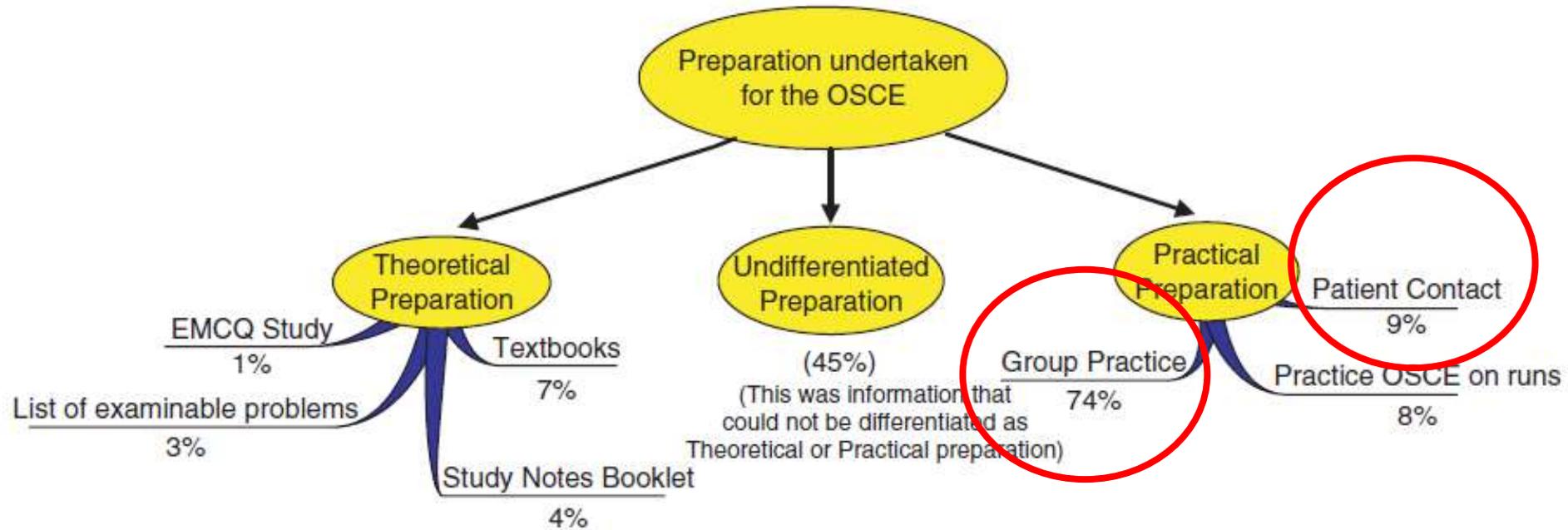
	信頼性	妥当性	教育的効果	費用対効果	現場の受入れ
CBT	再現問題の流布 再現問題の丸覚えによる回答	ブループリント 項目特性の強み	再現問題の流布 再現問題・予備校 模試頼み学習	全医学部から 新作問題が作成され提供される コンピュータなどの設備投資・管理	コンピュータなどの設備投資・管理
OSCE	信頼性を担保する ステーション数 模擬患者数 評価者数の確保	臨床実習前に獲得しておきたい診療技術を確認する pre-CC OSCE Post-CC OSCEが臨床実習中の評価よりも妥当か？	OSCE対策授業がカリキュラムへ導入された。 OSCE直前にシミュレーションセンターに立てこもる。	評価者、模擬患者養成、会場備品などにかかる費用の対価	評価者・模擬患者の養成の負担、準備する部門の負担

トレードオフの関係

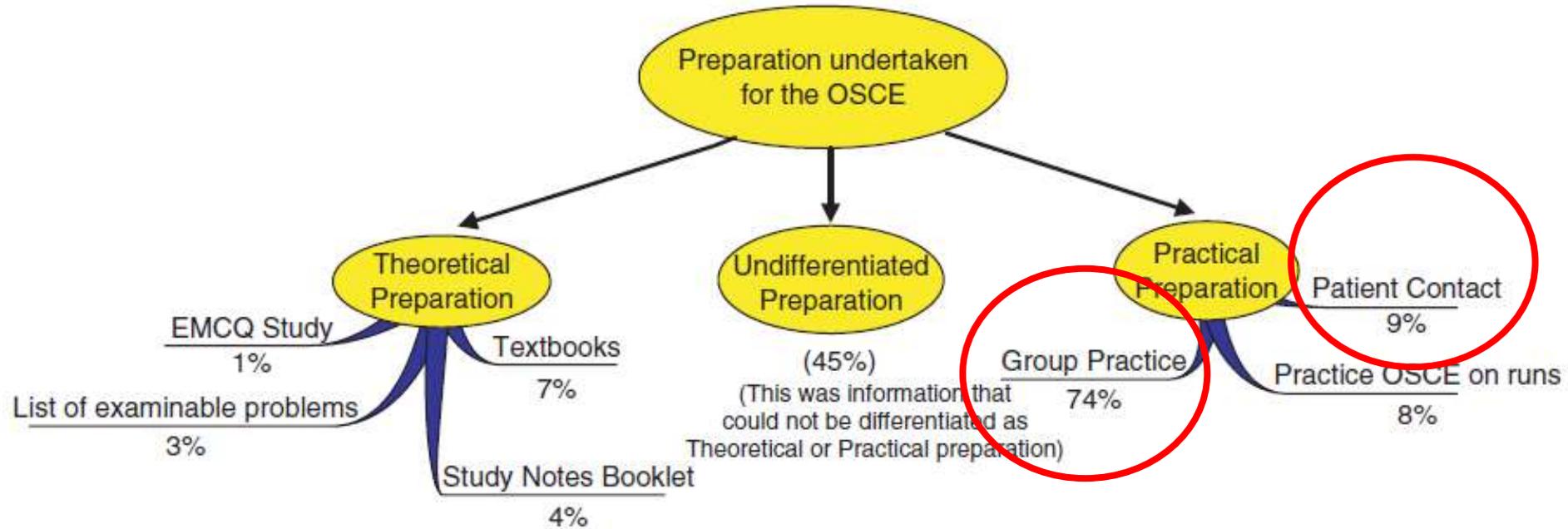
我が国のCBT/OSCEを検証してみる

van der Vleuten C. Adv Health Sci Educ 1996.
を参照に演者が記述

	信頼性	妥当性	教育的効果	費用対効果	現場の受入れ
CBT	再現問題の流布 再現問題の丸覚えによる回答	ブループリント 項目特性の強み	再現問題の流布 再現問題・予備校 模試頼み学習	全医学部から 新作問題が作成され提供される コンピュータなどの設備投資・管理	コンピュータなどの設備投資・管理
OSCE	信頼性を担保する ステーション数 模擬患者数 評価者数の確保	臨床実習前に獲得しておきたい診療技術を確認する pre-CC OSCE Post-CC OSCEが臨床実習中の評価よりも妥当か？	OSCE対策授業がカリキュラムへ導入された。 OSCE直前にシミュレーションセンターに立てこもる。	評価者、模擬患者養成、会場備品などにかかる費用の対価	評価者・模擬患者の養成の負担、準備する部門の負担



Rudland, et al. Med Teach 2008; 30: 206-11.

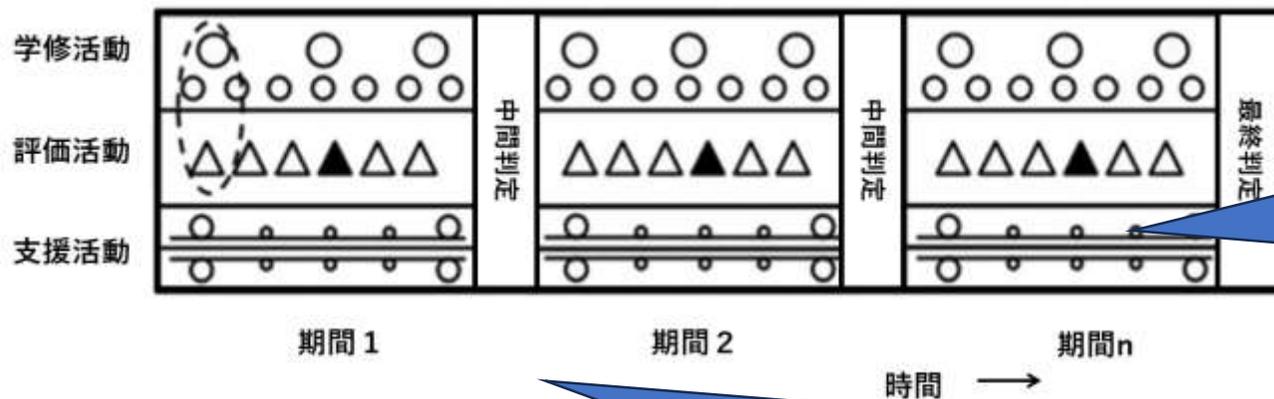


Rudland, et al. Med Teach 2008; 30: 206-11.

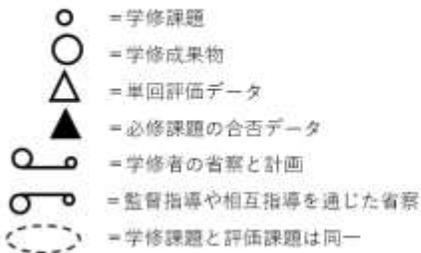
・ 診察の作法を学ぶ段階にある、臨床実習前OSCEであれば、学生同士でスキルを磨き合うことに意義はありそうです。しかし、臨床実習後OSCEについては、多くの教育資源を試験準備に費やすのであれば、診療参加型実習をいかに充実化させるかに時間を費やすほうが有意義ではないでしょうか。

医師国家試験や共用試験OSCEがないオランダで、どのように学修者評価の質を保証しているか。

- # 1. カリキュラム内で学修者評価を行う確固たるモデル（下図参照）がある
- # 2. 全国の大学主導で、年4回の共用の筆記試験（プログレステスト）を実施している
- # 3. 外部認証評価機構の審査をもって、各医学部のカリキュラム内での学修者評価の質を保証している



最終学年に1診療科で18週の臨床実習を行い、その中で、**最低限** Mini-CEX 5回、360度評価 2回
論文査読課題 2回、プログレステスト2回、OSCE 1回を実施し、卒業判定に活かす



学修活動、評価活動および支援活動を一体化し、これらを複数回多様な方法で実施し、支援・学修活動の記録も含めた定量的・叙事的評価情報をもとに、ステイクホルダーが中間判定・最終判定を行う（Programmatic Assessment）

【参照】

- # 2021年6月21日 Maastricht大学 医学教育部門前教授 Cees van der Vleuten氏とのインタビュー
- # 2023年1月17日 Maastricht大学 医学教育部門准教授 Marjan Govaerts氏とのインタビュー
- # 令和4年改訂版 医学教育モデル・コア・カリキュラムなど

日本文化を考慮した学修者評価

- コンピテンシー評価で重視される、「現場での観察評価」の記録に慣れていないかもしれない我が国（最初から完璧な評価を目指さず、「現場での観察評価」の経験を増やすことを目指したい）
- 学修者評価について教育機関の内部質検証よりも、外部機関へ委託する我が国（教育する立場が、学修者の能力の判定に責任を持つことを目指したい）
- 完璧性を求め、トレードオフ関係にある「妥当性・信頼性」vs「実現可能性」の議論で膠着状態に陥る我が国（「教育的影響」を主軸に議論を行うと視界が変わるかもしれません）